



滋賀県レイカディア大学 同窓会 湖東支部会報

令和元年8月1日

就任二年目を迎えて



湖東支部長
児玉 正孝

支部および本部の定期総会も四月中に終えました。支部では年度の事業計画を基に「一人ひとりが参加し易く、参加して良かった」と言っていただける行事内容を目指して取り組んでいます。

支部では今期に入って、四月二十九日にはビバシティで六月二十九日は愛知川のアモールで四十二期生募集のチラシ配布を実施しました。七月五日から七日まで作品展、十六日には彦根市松原周辺でびわこ湖岸清掃活動を行いました。

本部においても、六月に富田人形鑑賞、七月に三日月滋賀県知事の講演、米原校大学祭では同窓会九支部の活動状況を紹介するパネル展示がされました。現在は今年卒業予定の在校生を対象にした同窓会の案内チラシを作成中で、会員の増加に向け取り組んでいます。

他に同窓会では、地域の担い手活動の場の提供が幅広くできるよう、市町村の社協へボランティア団体の登録紹介や場合によっては湖東支部単位での共同行事実施にも取組んでいきたいと考えています。二〇二四年には滋賀国体があり、ボランティア募集への参加も予想されます。

令和の時代は、超高齢者社会だと言われています。長寿化が進み七十歳や八十歳になっても働き続ける「人生一〇〇年時代」が訪れようとしています。

私たちは「地域の担い手活動」として、安心・安全な地域社会をどう作り上げていくか。自らの生活は自らが守る【自助】、近隣が互いに助け合っで地域を守る【共助】、行政との連携で地域を活性化【公助】を意識して取り組んで行くことが必要かと思えます。行動に繋げるにはまだまだ啓発、勉強も重要です。

現体制は今年が最後の年となります。各種行事への積極的なご参加とご協力をお願いする次第です。

最後に、会員皆さまの益々のご活躍とご健勝をお祈りし、就任二年目の挨拶とします。

湖東支部 定期総会を開催

平成三十一年四月九日（火）湖東支部定期総会が会員55名出席のもと、彦根市老人福祉センターで開催されました。

開会の言葉に始まり、物故者への黙祷、レイカディア讃歌斉唱、児玉支部長の挨拶に続き、サポート隊より「42期生学生募集の取り組みについて」の協力要請がありました。引き続き、議事に入り、前年度の事業報告、決算報告、新年度の事業計画、収支予算計画の提案がなされ、すべて満場一致で原案どおり承認されました。

第2部では「会報に見る同窓会の軌跡」と題して元本部事務局長・湖東支部長の山岡昇様より講演を賜りました。大学の30年の歩みを改めて知ることが出来ました。

午後からは親睦グラウンドゴルフ大会が開催されました。風が強く少し寒い日でしたが楽しいひと時を過ごすことが出来ました。



総会風景



GG開会式

新会員二十九期生の広場

レイ大2年間を振り返って

園芸学科

北川勝美



一言でいえば実に充実した2年間を過ごすことができました。

まず、同じ目的をもって入学した人たちとの新たな出会いと交流の場となり、

新たな知識、技術、余暇の楽しみ方、過ごし方などを会得し、残されたこれからの日々の暮らしに何らかの形で大いに役立てができるきっかけとなりました。

また、情報委員の一員としてHPの制作に携わり、2年間の足跡をまとめることができたこと等、すべてが未経験なことばかり故、自分なりに満足できる機会、結果となったことを実感しています。

また、大学祭で展示された作品の中にも挑戦したくなるものも幾つかあり、好奇心旺盛な性格上、下手の横好きではあるが新たな趣味の一つと

してチャレンジして楽しんでいきます。

一方、課題学習で取り組んだテーマについては、一過性で終えることなく卒業後も引き続き仲間と汗を流し、その場所が取り組む以前の姿に戻らないように計画的に作業を実施し、少しでも地域に貢献ができるように取り組んでいます。

現役を引退後、まさかこのような新たな出会いができるとは想像もしていませんでしたので、この出会いを大切にしていきたいです。

私の第二の人生の過ごし方

園芸学科

宇野 賢一

人生100年といわれている今日です。



第二の人生をどの様に過ごすかを考え始めた時、友達から小菊栽培をこれからの人生の趣味とすること

は、面白いよ、と聞かされ興味を持ちました。私は、現役時代より少しですが野菜づくりや花づくりをしており、また、隣地に迷惑をかけている放置畑があることから、この場所に菊を植えることにより、趣味と活用の一石二鳥になるのではと考えました。

この趣味は、はじめての挑戦ですが、多くの人々の助けにより、今では、JAのやさいの里など三ヶ所に出荷する事が出来るまでになりました。

そこでレイカティア大学のことを知り、より深く園芸のことを学びたいと入学することにしました。

講義では、役立つ知識を得ましたが、それ以上に同じ志を持ち合わせた仲間に出会うことができ、社会経験豊かな個性あふれる仲間との交流で大学の2年間は本当に有意義な時間でした。

今後も、共に学んだ仲間との絆を大切に、奉仕作業、旅行や飲み会などを通じてコミュニケーションを図りながら小菊の趣味を生かし第二の人生を過ごしていきたいと思っています。

レイ大の思い出

健康づくり学科

伊藤陽子



決断力の悪い私が意外なことから入学することができ、年がいもなく心配やら不安な思いでスタートしました。

八名の仲間たちは、個性豊かです。年令もまちまちです。賑やかな女性五名、どんな時も思いやりがありやさしい男性三名、授業の時はもちろん、行事の度に絆を深め食事会、慰労会、一泊旅行、卒業旅行と思いがいっぱい出ました。

八名全員が卒業することができたことも大変嬉しいことでした。

卒業した現在も八名全員が無理のない程度にボランティア活動に励み、その度に意見を出しあい反省し、またグラウンドゴルフにも出かけ“心も体も健康”を目指して頑張っています。

仲間に感謝、そして家族に感謝の日々を過ごしています。

レイ大の仲間と出会えて

園芸学科

上野清治

最近、レイ大の同期7名と一日列車に乗る旅行を堪能しました。



毎日が気ぜわしく生活していたときには思いつきもしない旅です。

一区間1900円の切符一枚で、途中下車をしないで、14時間、乗換えの待ち時間を除いてずっと車窓を眺めて過ごしました。

何せ、北は近江塩津、西は新大阪、南は和歌山、東は奈良・柘植500kmほどの距離です。「関西大回り乗車」というのがあって、一筆書きのように路線を乗継いでいくと、実際に乗った経路に関わらず最も安い経路の運賃で乗車できるという基本ルールがあるということも初めて知りました。

リュックに握り飯や飲み物、おやつを詰めて久々の子供の遠足気分です。ワイワイはしゃぎました。

周りのお客様にはご迷惑をお掛けしたと思いますが、こんな楽し

み方を味わわせてもらったのも、レイ大の出会いがあったからだと感謝しています。

もちろん、お楽しみのお懇親会やいろいろなボランティア事業の誘い、ザックバランな定例会もいい刺激です。

また花や果樹、野菜の情報交流ができるのも気の置けない友だからこそです。得がたい宝物です。

卒業後の日々はいかに

園芸学科

廣田 茂

レイカディア大学に入学して、退職後の閑散な人との付き合いが活発化した。卒業して学友との交流は残るものの虚脱感は漂う。



そんな中、課題学習で取り組んだ「おから山古墳の景観形成」の活動を通

して、不通だった昔の友人が歴史の視点から、予てから開催しなかった古墳の勉強会を実施してくれた。

内外から二十七名の歴史好きが参加した。そして、請われるままに

まちづくり協議会の歴史文化の部に参画し、歴史華やかな日野町の歴史を熱心に勉強している四団体、六人の篤志家と交流したことは俄然、歴史に目覚めることになった。

地元で結成した里やまの規約を作成した時、景観を形成する労役を提供し、かつ古墳の文化的価値を後世に継承することと明文化した。歴史を知ることが継承への第一歩だ。

今までの景観形成での汗を流す力業から、知識を得て広める活動を見出した。

レイカディア大学卒業の歴史研究者との交流も含め、これらの知のネットワークにおすがりして、歴史欲を充実させ情報を発信する社会奉仕に活躍を求めるとともに、自分の内面を高める日々を送るのもいいではないか。

元気はつらつ 八翔会

健康づくり学科

山根 修

「人生の余暇を楽しむ」・「現役を退いて、今までの組織人からこれ

からは一人の人間として老いる身体に向き合っていかなければなりません。



山の頂上に至り展望台で一休みして、これから下り坂を無事に過ごせるように願うばかりです。

さて、組織を離れたら自分で人生を切り開かねばなりません。これからの人生は「健康第一」「安全第一」で行くことになりましたが一人では何もできません。そんな時にレイ大の存在を知り、この新しい世界に飛び込みました。

在学2年間、仲間と共に「健康でいることの楽しさを」を学び、知識を得て地域活動、課題学習（福祉）に取組みました。

「春の桜、夏の青葉、秋の紅葉、冬の雪」四季折々の自然を満喫し、いつもの暮らしに感謝しつつ、この仲間たちと共に施設訪問などの地域活動が未永く続けられるように願っています。

会員の皆さま、これからもよろしくお願い致します。

「近江」と私

北近江文化学科

宮口振英



もう、44年前の話、私は東京から長浜へ就職にきた。そのとき、私は「近江」を「キンコウ」と呼んでいる。また、新幹線の米原駅すら知らなかった。京都駅から普通電車でJR米原駅に戻り職員の方が迎えに来てくれました。

「浅井町」という地名が戦国時代の名将浅井長政に由来するとか、そしてお市の方、浅井三姉妹などについて、職員から教えられた。偉い所に来たかなと思いました。

レイ大の出会いもまた不思議でした。2016年7月、彦根市役所へ行った時、60歳以上なら入学できる高齢者の大学のあること、しかも2年間の本格的な学校であることを初めて知りました。

受付の方から直接入学申し込みをしてくださいと勧められた。

そのとき、私の体調は余りすくねなかった。健康のため「健康づくり

学科」か趣味のため「園芸学科」かを迷いました。ふっと、「近江」の文字を目にして「浅井氏」の時代のことが呼び返ったのです。

その後、「戦国時代」の本を結構読みました。人物は知っているが場所についてはあまり知らなかった。よし、「北近江文化学科」と決めました。

「近江を制するものは天下を制す」と言うように「近江国」は京都に隣接、びわ湖を擁する豊かな地域である。長政の小谷城、秀吉の長浜城、信長の安土城そして国宝彦根城、これらの歴史の地を巡るのは一生の幸せである。

言うまでもなく、学友達は地元でまるで歴史の専門家のように私の目に映る。私は皆に「おんぶに抱っこ」で卒業しました。

幸せな「第二の人生」に感謝、感謝。

これから生きる

園芸学科

桂田芳明

レイ大を卒業して早や8ヶ月、自治会長を終え2か月。暇ができるかと思いきや畑やアルバイトも

あり結構多忙な毎日を過ごしています。人生100年の時代。残り30年

ほど有しているが、現存の力は後10年ぐらい。充実した人生を送るために目標としていくことがあります。



第一はボランティア活動の継続

(現在、教林坊の整備と四番町スクエアの整備など)を实行。第二は、果樹の育成にチャレンジ。3アールの畑に梨、桃、リンゴ、ブドウ、キウイ、ミカン、サクランボ、いちじく、柿を植樹し、ブドウは愛荘町長塚のブドウの会に参加し何とか収穫ができていますが、梨、桃、リンゴは未知の世界。今年から百済寺の知り合いの梨園でOJTを受け、収穫ができるか楽しみにしています。

4月には、異品種の接ぎ木の指導を受け、我が梨にも実地練習をしたところ見事、最近幸水に秋月の枝から芽がふいたので大変喜んでいて次第です。

今後も常にチャレンジ精神で果樹の育成も含め、いろいろな人との出会いを大切に残りの人生を楽しみたいと考えています。

新たな仲間をもとめて

園芸学科

大町千津子



レイカディア大学の二年間は、あっという間に過ぎました。

多くの知識の習得ができ、園芸の授業では、専門的に学び楽しい時間でした。中でも一番良かったことは、多くの人たちとの交流が増えたことです。毎月、例会と女子会を開きながら情報交換などを楽しんでいきます。

また課題学習の継続で甲良町金屋橋付近の桜並木整備とグループハウス「げんじいの家」の庭剪定に参加しています。細く長く活動を行なえればと思っています。私の住む多賀町地域で、私にできることがないかと模索中です。

同窓会に入会させていただき、これからは支部の各行事にも参加して新たな方々との交流を通じて、活動の輪を広げて行けたらと思っています。

よろしくお願ひ致します。

思い出深い大学祭と十人十色の仲間たち

北近江文化学科

藤森 勉

2017年10月4日、レイ大入学式。場違いな所へ来たかなという不安が一瞬よぎりました。



しかし、その不安も助け合いながら学習を進めていく間に次第に消えていきました。

ところが1年生初めての大学祭。やっと方向性が決まり順調に準備が進んできた6月、病気のため3か月程入院してしまいました。2年生の6月。課題学習も進み大学祭の準備に入った頃にまたも入院。仲間の皆さんには大変迷惑をかけてしまいました。

それでも、お見舞いに来て下さったり、メール等で大学祭をはじめ学習の状況を教えていただき、とても心強く、経過も順調で大学にも復帰でき、受講日数も足り、より絆の深まった仲間10人とともに無事卒業ができました。

卒業後も「十人十色の会」を結成

して、①街道や史跡などを巡って学ぶ「十人十色フィールドスタディ」②在学中や今後の活動の結果を残し文庫とする「十人十色文庫」③各地域に出かけ文庫を活用し地域と交流を図る「十人十色移動力フェス」の3点を柱に活動中です。

学び続ける楽しさ、仲間と共に活動する喜び、そして地域の方々と交わるこの大切さを教えてくれたレイ大に心から感謝します。

レイ大の思い出

健康づくり学科

小山美代子

「入学式にいかれますか。私も行きます。」緊張と不安顔の私に明るい声が掛かりました。瀬田駅バス乗り場でのことです。



同じ学部に入學すると聞きうれしくてホッとしたのを昨日のことのように思い出します。

三十九期健康づくり学科は男性三名、女性五名の個性豊かで、元氣な集まりです。健康ボランティア

ア、地域の歴史、生き方、福祉、介護等について多くを学びました。

二年間で自分が変化したことは、人の話をよく聞けるようになったことです。近所の高齢の方と気軽に会話が出来るようになったことです。サロンのお手伝いにも参加しています。

卒業後も介護施設を訪問し、車椅子の整備や演芸を続けています。

その都度仲間と計画し、近況を報告し、時には旅行を楽しみながら、健康寿命を延ばして行けたら幸いです。(順不同)

今後の主な行事予定

★湖東支部GG大会

9月26日 木 荒神山GG

★新入会員歓迎会

10月3日 木 一休庵

★四支部GG大会

10月11日 金 長浜ドーム

★地域活動事例発表会

日未定 八幡ひまわり館

★研修旅行

日、行先未定

詳細確定次第、連絡致します
ご参加をお願い致します

同窓会ホームページの活用を!

会員の皆様には同窓会ホームページ(H.P.)を閲覧頂いてますでしょうか?「レイカディア大学同窓会」で検索、もしくは「<http://acadia-dousoukaicom/>」入力で簡単にアクセスが可能です。詳細内容が本部會報35号の43頁にも紹介されていますのでご覧下さい。

湖東支部HPの構成は①年間の事業計画に基づいた直近の会議や行事の日程・内容を「お知らせ」の欄で紹介。②そして活動実施した内容を写真やコメントで日誌風に記録し、参加できなかった方々も見て頂けるようにと。又、これらは同窓会活動の大切な履歴としてアーカイブしていきます。③大学や学生・サポート隊・シニアネット等の関連HPともリンクされており迅速に情報確認が可能です。としています。

同窓会HPは立ち上げて6年目を迎えますが、更なるレベル向上を図るべく各支部間との交流活動も開始しました。同窓会HPを有用な「情報共有ツール」として活用して頂けるよう努めています。たいと思っています。



湖東支部HP担当

鳥越正夫(園芸学科36期)

同窓会活動の広場

趣味の作品展を開催

去る七月五日（金）から七日（日）の三日間、彦根市民会館ギャラリーにて恒例の「作品展」を開催しました。今年度は31人の方から陶芸、盆栽、手工芸品、絵画、書、写真、彫刻など55点が出品されました。出展者と作品名などについては次号で掲載を予定しています。



学生募集のチラシ配布

去る四月二十九（日）にヒバシティ彦根、六月二十九（土）にアモール愛知川で学生募集のチラシ配布活動を行いました。近年は入学応募者が伸び悩みしており同窓会としてレイ大の発展に寄与すべく実施しました。



ヒバシティにて



愛知川アモールにて

訪問コーナー

米寿を迎えられ、本部の総会で慶祝表彰を受けられた上田晴彦様、上田八重子様宅にお伺いしました。お住まいは甲良町養寺で、東照宮寛永大造替の大棟梁であった甲良豊後守宗廣の出生地でもあります。

長寿化の時代になり米寿を迎えられる方が多くなっていますが、レイ大卒業生でご夫婦が一緒に米寿になられた方は、聞くところではおられないようです。

晴彦さんは電力会社に、八重子さんは教師をされておられたと、お聞きしました。今でも車の運転をされておられ、いたってお元気です。

健康の秘訣をお尋ねすると晴彦さんは畑仕事と週二回、町主催の健康体操への参加です。八重子さんは短歌・絵画・生花を趣味にされており、ご両人とも、日々楽しく前向きに過ごすごだと仰っていました。

（訪問 西澤則彦 37健康）



慶祝（米寿）

上田八重子 様 （甲良町）

18期文芸学科（米原校）

上田晴彦 様 （甲良町）

19期園芸学科（米原校）

辻 三光 様 （彦根市）

21期園芸学科（草津校）

編集後記

会報には、新会員紹介を主に掲載しました。多くの新会員の思いは、専門的な知識を習得出来ただけでなく、何よりも新たな友人が多く出来て、卒業後も生き生きと楽しい日々を過ごしているとのことでした。

同窓会仲間の輪をさらに大きく拡げて行きたいですね。レイ大の素晴らしさを地域の方々や知人にアピールしていただきますようお願い申し上げます。

滋賀県レイカディア大学同窓会
湖東支部会報

令和元年八月一日発行

令和元年度第一号

発行責任者 児玉正孝

編集責任者 西澤則彦